

問1 日本銀行が「公開市場操作（売りオペレーション）」を行う背景として、物価の動向と市場の仕組みを説明した文として、最も適切なものはどれですか。（2022年 茨城県公立入試 類似）

1. 不況によって物価が下落しているとき、企業の資金繰りを助けるために通貨量を増やす必要があるため。
2. 好景気によって物価が上がりすぎると、貨幣の価値が相対的に下がり国民生活が不安定になるため、通貨量を絞り物価を安定させる必要があるから。
3. 政府の税収が不足しているとき、日本銀行が国債を売ることによって得た利益を直接、公共事業の資金に充てて景気を下支えするため。
4. 円安が進みすぎた際に、日本銀行が国債を売ることによって強制的に円高へと誘導し、輸出企業の利益を拡大させるため。

問2 日本銀行が行う金融政策のうち、不景気への対策として実施される「買いオペレーション」の仕組みについて説明した文として正しいものはどれですか。（2023年 山梨公立入試 類似）

1. 日本銀行が国債を買い、代金を支払うことで、市場の通貨供給量を増やして景気の回復を図る。
2. 日本銀行が国債を売り、代金を回収することで、市場の通貨供給量を減らして景気の過熱を抑える。
3. 日本銀行が企業から直接製品を買い取ることで、企業の利益を直接的に増やして景気の回復を図る。
4. 日本銀行が金利を強制的に引き上げることで、国民が銀行へ預金する額を増やして景気の安定を図る。

問3 景気が後退している局面において、日本銀行が世の中に出回る通貨量を調整するために行う「公開市場操作（買いオペレーション）」の手順と効果を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2020年 和歌山公立入試 類似）

1. 日本銀行が銀行などの民間金融機関から国債を買い取り、その代金を支払うことで、民間金融機関の資金量を増やし、経済を活性化させる。
2. 日本銀行が保有する国債を民間金融機関に売り、その代金を受け取ることで、民間金融機関の資金量を減らし、過熱した景気を抑える。
3. 日本銀行が政府から直接国債を買い取り、政府が公共事業を増やすことで、世の中の通貨量を増やし、雇用を創出する。
4. 日本銀行が民間金融機関の預金準備率を引き下げることで、銀行が貸し出しに回せる資金を増やし、企業の投資を促進する。

問4 日本の中央銀行である日本銀行は、民間の金融機関には認められていない特別な役割を3つ持っています。そのうち、日本の紙幣である日本銀行券を独占的に発行できる唯一の銀行としての役割を何といいますか。（2025年 岐阜公立入試 類似）

1. 発券銀行
2. 銀行の銀行
3. 政府の銀行
4. 市中銀行

問5 日本銀行が、景気の停滞期（不況期）に市場を流通する通貨の量を増やして景気を刺激しようとする際、民間銀行との間で行う操作について述べたものとして正しいものはどれですか。（2017年 徳島公立入試 類似）

1. 日本銀行が民間銀行から国債などを買い取る「買いオペレーション」を行い、市場に供給される通貨量を増やす。
2. 日本銀行が民間銀行へ国債などを売却する「売りオペレーション」を行い、市場の通貨量を回収する。
3. 日本銀行が民間銀行に預けさせる準備金の割合を引き上げることで、銀行の貸し出しを制限する。
4. 日本銀行が政府に対して公共投資の拡大を働きかけ、市場の通貨量を直接的に増加させる。

問6 企業が新しい工場を建てたり、研究開発を行ったりするために必要な資金を調達する方法のうち、株式や社債を発行し、証券市場を通じて投資家から直接、事業資金を調達する仕組みを何と呼びますか。（2022年 熊本県公立入試 類似）

1. 直接金融
2. 間接金融
3. 公開市場操作
4. 預金準備率操作

問7 日本銀行を中心とした資金の流れについて説明した次の文のうち、中央銀行の仕組みとして正しいものはどれですか。（2023年 福岡県公立入試 類似）

1. 日本銀行は一般の銀行との間で預金の受け入れを行うが、政府との間では資金のやり取りは行わない。
2. 日本銀行は政府の資金を取り扱う一方で、一般の企業に対しては直接、設備投資のための貸し出しを行う。
3. 日本銀行は政府の資金である国庫金を取り扱うほか、一般の銀行との間で資金の貸し出しや預金の受け入れを行う。
4. 日本銀行は家計（個人）からの預金を直接受け入れ、その資金を一般の銀行へ貸し出す役割を持つ。

問8 日本銀行は、一般の銀行とは異なる特殊な役割を担っています。日本銀行が「銀行の銀行」と呼ばれる理由として、業務の実態を正しく述べたものはどれですか。（2019年 茨城県公立入試 類似）

1. 民間金融機関との間で当座預金のやり取りを行い、金融システム全体の資金の過不足を調整しているから。
2. 全国の民間銀行の経営権を政府に代わって所有し、銀行の支店網を管理しているから。
3. 銀行の窓口で行われる振り込みや引き出しの業務を、すべて日本銀行が遠隔で代行しているから。
4. すべての国民が日本銀行に口座を持ち、民間銀行を介さずに預金ができる仕組みを提供しているから。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 好景気によって物価が上がりすぎると、貨幣の価値が相対的に下がり国民生活が不安定になるため、通貨量を絞って物価を安定させる必要があるから。	物価が持続的に上昇するインフレーションが起こると、同じ金額で買えるものが少なくなる（＝貨幣価値の下落）ため、国民生活に悪影響を及ぼします。日本銀行の重要な役割の一つは「物価の安定」であり、売りオペレーションを通じて市中の通貨量を減らすことで、過度な経済の過熱を冷やし、物価をコントロールしようとしています。
問2	答え 1 日本銀行が国債を買い、代金を支払うことで、市場の通貨供給量を増やして景気の回復を図る。	買いオペレーションは、日本銀行が公開市場操作の一環として、民間金融機関から国債などを買い入れる操作です。この対価として支払われた資金が民間銀行の資金供給源となり、結果として世の中の通貨量が増え、金利が低下することで企業の設備投資や個人の消費を促す仕組みになっています。
問3	答え 1 日本銀行が銀行などの民間金融機関から国債を買い取り、その代金を支払うことで、民間金融機関の資金量を増やし、経済を活性化させる。	景気が悪いとき、日本銀行は市場に流通するお金の量を増やして経済を刺激しようとしています。具体的には、日本銀行が民間金融機関の持つ国債を買い取ることで、対価としての現金が民間金融機関に渡ります。これにより、銀行が企業や個人に貸し出せる資金が増え、金利が下がりやすくなることで、消費や投資が促される仕組みです。
問4	答え 1 発券銀行	日本銀行は、日本で唯一の「日本銀行券（紙幣）」を発行できる権利を持つため「発券銀行」と呼ばれます。これにより、世の中に出回る通貨の量を調整し、物価や経済の安定を図る役割を担っています。他の選択肢である「銀行の銀行」は民間銀行と取引を行う役割、「政府の銀行」は国庫金の管理などを行う役割を指します。
問5	答え 1 日本銀行が民間銀行から国債などを買い取る「買いオペレーション」を行い、市場に供給される通貨量を増やす。	景気が悪いとき、中央銀行である日本銀行は、世の中に出回る通貨の量を増やして金利を下げ、企業が資金を借りやすくすることで景気を回復させようとしています。このため、日本銀行は民間銀行が持っている国債や手形などを買い取り、その代金として市場に現金を供給します。この仕組みを「買いオペレーション」と呼びます。
問6	答え 1 直接金融	資金を必要とする企業が、証券市場で株式や社債を発行し、家計などの投資家から直接資金を募る方法を直接金融といいます。これに対し、銀行などの金融機関が仲介役となり、預金者から集めた資金を企業に貸し出す仕組みは「間接金融」と呼ばれます。
問7	答え 3 日本銀行は政府の資金である国庫金を取り扱うほか、一般の銀行との間で資金の貸し出しや預金の受け入れを行う。	日本銀行の取引相手は、大きく分けて「政府」と「金融機関（一般の銀行など）」の2つに限定されています。政府に対しては「政府の銀行」として、一般の銀行に対しては「銀行の銀行」として機能します。企業や家計（個人）が直接、日本銀行に預金をしたり融資を受けたりすることはありません。
問8	答え 1 民間金融機関との間で当座預金のやり取りを行い、金融システム全体の資金の過不足を調整しているから。	日本銀行は中央銀行として、民間の銀行などが預け入れている当座預金を通じて、金融機関同士の資金の決済を仲介したり、不足している銀行へ資金を貸し出したりしています。このように「銀行にとっての銀行」として機能することで、経済全体の血液であるお金の流れを安定させています。民間銀行の経営権を所有したり、個人の預金口座を管理したりすることはありません。